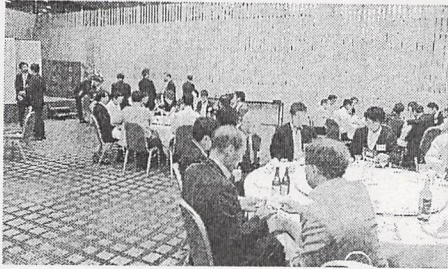


# 節目となる設立30周年

## 京都市ベンチャービジネスクラブ



来賓を交え活発に意見交換し、明日への飛躍を誓う



大東利幸代表幹事（大東 獲具工業社長）

今年設立30周年を迎えた京都市ベンチャービジネスクラブ（KVBC）は、高度な技術や独創的なアイデアで成長を続けるベンチャー企業の交流組織として、会員相互の情報交換や産学公の連携を目指している。1985（昭和60）年に京都市の呼びかけによってスタート、特定の業種にこだわらず幅広い業種の54社で構成され、事務局は京都市が担うという全国でも珍しい組織形態。「Shake Hands Tomorrow」（創造、交流、成長）を合言葉に、新しい技術やノウハウを持った新進鋭の企業が、ベンチャースピリッツを通じて活発に交流し、日々研鑽を誓い合っている。

このほどKVBCが平成27年度総会と会員交流会を開催し、更なるクラブの発展と会員企業の

### 情報共有システムが発達した京都の特性を生かす

総会で、代表幹事 記念すべき年です。先輩 ものにできるよ会員の大東利幸（株式会社）方が築き上げてこられた 皆様と力を合わせていきは、西本清一・京都高度社大東獲具工業社 良き伝統に、私たちが新ましよう」と述べ、今年 技術研究所理事長、京都長 氏は、「今年は、しいエッセンスを加える 度の事業計画を発表し、クラブ設立30周年の、ことで更にクラブを良い、た。

総会後の会員交流会で、京都市はベンチャービ

KVBCはこれまで システムが他に比べて発のますますの発展を期待「会員同士の交流」各種 避していたという特性がして「交換した。研究」「視察研修」機関 ある。ベンチャーからス KVBCは10月1日から誌発行によるクラブ活動 タートして、今では世界 2日間の日程で徳島県活動してきたが、今年 は 社でも京都に本社を置 徳島のものづくり企業や紹介」を事業の柱として き、頻りに会合などへも 上勝町の「葉っぱビジネ「他地域の異業種交流団 体との交流」や「設立30 参加しているということ ス」への視察のほか、徳周年記念事業の開催」を は、まさに京都が起業を 鳥企業との交流・懇親会加え、新しいステージの 育で飛躍する風土を持ち を行う。昨年度は視察した創造を目指すことを全会 合わせているというこ た仙台で、東日本大震災一致で決議した。 だ。それぞれの得意分野 からの復興の現状を見たを持ち寄り、チームとな 会員企業の株式会社カスを持って取り組むことで将来 タネット（植木力社長）の発展を期待する」と来 は、東北大学大学院の堀切川教授と共同で防災グ